

地域にはばたく市民パワ－!



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2020年4月号(第137号)

発行責任者 佐藤 重松



2020.02.18 地球環境に学ぶサークル 山宇農園発電所見学 仲山 富夫氏/撮影

新型コロナウイルスに負けず、活動復帰に備えよう!

総務部長 中原 幹男

新型コロナウイルスに感染しないために、外出する際には以下の「3密」を避けましょう。

1) 換気の悪い密閉空間 2) 多数が集まる密集場所 3) 間近で会話や発声をする密接場面

そして日々 1) 手洗い 2) 健康管理 3) 適度な湿度保持(部屋の加湿のほか、お茶など水分をこまめに取り、のどの粘膜の防御機能を低下させない)を励行しましょう。

コロナ問題はいずれ終息します。家の中に閉じこもってばかりでは、抵抗力も下がります。日に1度は外出し、上記のことを守りながら体力を維持し、活動復帰に備えましょう。

時局講演会中止・延期のお知らせ

5月8日(金)に予定していました時局講演会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、一旦中止とし、延期することにしました。

時局講演会は、改めて日程調整して報告させていただきます。

事業部

時局講演会

憲法について真剣に考える

—日本国憲法の「個人として尊重」と
改憲案における「人として尊重」の違いをてがかりに—

早稲田大学大学院法務研究科教授 中島 徹



中島 徹氏

1 何を「真剣に考える」のか

講演会のタイトルをご覧になって、「失礼な、これまでだって真剣に考えてきた！」と思われた方がいらっしやるかもしれません。ここで「真剣」というのは、法が用いている用語の意味をじっくりと考えてみようという意味です。日本国憲法は、占領軍関係者がわずか9日間で作った（いい加減な）ものだから日本人の手で作り替えようといわれることがあります。そこには近代憲法が誕生して以来200年以上の時間の中で育まれた先人の知恵と経験が凝縮されています。本講演会ではその一端を垣間見ながら、なぜ憲法が存在するのか、その理由を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

2 「個人」と「人」のあいだ

日本国憲法13条は、「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」とうたっています。他方、自民党改憲案は、これを「全て国民は、人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公益及び公の秩序に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大限に尊重されなければならない」と変えることを提案しています（下線と太字は原文）。この違い、一見すると大差ないように思えるかもしれませんが、実は大きな違いがあります。講演会では、その点をお話ししながら、皆さんにどちらを選ぶかを考えていただきます。

3 後法は前法を廃する

これは、あとから作られた法律によって、それ以前の法律は効力を失うということを意味します。ご存知の通り、安倍首相は現在の日本国憲法9条をそ

のまま維持しながら、それに自衛隊が合憲であることを明らかにする条文をつけ加えるべきだと主張しています。その理由は、憲法研究者の中には違憲論が多いとか、違憲論によって自衛隊員の家族が辛い思いをしていることなどがあげられています。そうした状況を変えるだけで、憲法9条は「何も変わらない」のだから安心してくれというのですが、それならつけ加える必要はないともいえます。しかし、「後法は前法を廃する」のであれば、現在の憲法9条は、自衛隊を明記する条文の追加によって「変わる」（事実上廃止される）と考える余地が生じます。本当に「何も変わらない」かどうか、改めてじっくりと考える必要があるのではないのでしょうか。

4 憲法の存在理由を改めて考える

自民党の改憲案には、現行憲法にはない緊急権条項が明記されています。この文章を書いている3月上旬、世間の関心は新型コロナウイルスによる感染症対策に集中しています。安倍首相はこれを国家的危機と訴えています。仮に憲法に緊急権条項が規定されていれば、その「危機」を乗り切ることができたのでしょうか？緊急権条項は、もともと戦時を念頭において作られており、憲法の効力を一時停止することに主眼があります。国民の生命や健康を守るために憲法を停止する？その結果、誰が、誰の人権を、どのように制限することになるのか、想像力をはたらかせて考えながら、なぜ憲法が存在するのかを考えてみたいと思います。

中島徹氏略歴

1955年生まれ

早稲田大学法学部卒業

早稲田大学法学学術院（法学部、法務研究科）

憲法担当

単著『財産権の領分』、

樋口陽一・中島徹・長谷部恭男編『憲法の尊厳』

など

新会員の声

楽しみにしています

野老澤の歴史をたのしむ会 佐野 喜代子



24 期を卒業し、26 期企画委員、28 期の立ち上げお手伝いと、約 4 年の市民大学生活が終わりました。市内におとなの仲間ができればと思い参加した市民大学でした。本当にいろいろな人生を過ごして来られた方々と会うことができました。様々な生き方を見せていただきました。世の中が広がったような気がしています。

倶楽部のイベントには、今までもあれこれ参加させてもらっていましたが、これからは晴れて会

員として、いろいろな催しに、参加できることを楽しみにしています。

市民大学の理念の一つに「地域に学びを広げる」というのがありますが、倶楽部の活動がこれを実践しようとしていることにとっても共感しています。

入りたいサークルがたくさんありますが、とりあえず「野老澤の歴史をたのしむ会」に入れていただきました。これからどんな出会いがあり、どんな楽しみが見つけれられるかとても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

緑と文化の街 所沢に魅せられて

アジア研究会 小口 寛子



私は、春が来ると、元気が出るような「言霊」を呟きます。昔、「言葉が発せられると、その言葉が実現する」言霊信仰と言うのが、あったそうです。だから「春になった。新しいことを始めるぞ」と自分に呟くのです。二人暮らしをしていた夫が、ある日突然亡くなり、私に 24 時間が、自分で自由に使える日々がやって来ました。はじめは、何をしたら良いか、考え込む日々でした。学生時代の友人に「所沢市民大学」のことをお聞きして、仲間に入れて頂くことにしました。所沢の市民になり、50 年の月日が流れているのに、自分は所沢市のことを、何も知らないことに気づいたからです。1 年次は体調を崩し、欠席すると

きもありましたが、2 年次は、地方自治を選択し、仲間と一緒に今の所沢について、いろいろと勉強することが出来ました。発展して行く所沢、サクラタウン、所沢駅前の再開発、三ヶ島工業地区の開発、西武園のリニューアルオープン、今後の所沢の町が、更なる発展をすることを知り、楽しみになりました。日々体力の衰えを感じ、脳細胞の減少を嘆きながらも、新しいことにチャレンジし、体験して、「毎日が楽しく過ごせますように」と言霊を呟きながら、日々過ごして行きたいと思っています。

市民大学での学生気分が終わりになるのは、残念に思い、引き続き「アジア研究会」に参加させていただくことにしました。皆様宜しくお願い申し上げます。

おすすめの1冊
第8回

『モーツァルト・無常という事』

19期 渡邊 晴雄



“おすすめの一冊”として、私は“良く読めば役に立つ”と思う本を選んだ。

著者の小林秀雄は、日本の近代批評を確立した思索者で、批評を文学の高さに持ち上げた評価から、1967年に文化勲章を受章している。小林の著述は、文学、思想、美術、音楽、古典、骨董にも及び、深い思考と明晰な論理を基に、個性的な文体と詩的な表現による名著を多数創出した。縁があって我が家には、小林がサインした初版本10冊がある。



小林 秀雄

私が小林を知ったのは25才の頃だったが、当初読みにくい文章に馴染めず、アガサ・クリスティー等の推理小説を読んでいた。もし、その頃から小林秀雄に目が向いていたら、考える力が身につけていたと思う。

小林秀雄の本に興味を持ちはじめたのは、美術史に興味が出た10年位前の事で、近代絵画、芸術随想、ゴッホの手紙、モーツァルト等を、深く考えずに読み飛ばしていた。そんな読み方を変えなければならぬと認識したのは、偶然ある本で読んだ次の記事だった。

“エッセイ『当麻』に書かれている小林秀雄の考え方を象徴する文章を理解できれば、小林の思考する構図がわかるだろう。そのためには考え抜く事が必要だ”

【美しい「花」がある。「花」の美しさという様なものはない。】

小林の文章は難解であるが、考え抜いて理解できると、心地よい達成感を感じられる。

今回、多くの小林の著述の中から、私の好きな作品3点が含まれている本を選んだ。

・モーツァルト

小林批評美学の集大成で、音楽評論家の吉田秀和は“読んだ時その文体にショックを感じた”と



モーツァルト・無常という事 新潮文庫

言っている。小林が母の霊に捧げた作品である。

【ある冬の夜、大阪の道頓堀をうろついていた時、突然このト短調シンフォニーの有名なテーマが頭の中で鳴ったのである。】という有名な文がある。

・無常ということ

近代日本の散文中、最高と評価する人も

居り、高校の教科書にも載っている。

白洲正子の文学の師は小林秀雄だったが、この文章により、初めて文学の面白さを教えられたと言っていた。

・真贋

“感動した対象が本物でなかったら”という事を辛辣な体験で書いている。

最近TAC美術史学習会で開催された斎藤陽一氏の良寛講座でも話題となった。

“良寛の軸を手に入れて得意になって掛けていたところ、良寛の研究家に贋作であると指摘されて小林は、傍にあった一文字助光をとって十文字に切り裂いてしまった”

小林秀雄は“50年に一人出るかどうか”とも言われている不世出の批評家である。

批評家を志す人は、先ず小林秀雄につき評論を書く事が、第一ステップであるそうだ。

従って小林秀雄に関する第三者による著述は多く出版されている。

『考えるヒント』は、読み易い2番目の選択であり、『小林秀雄対話集』も面白い。

考え抜くという事は、脳の老化を遅らせるようだ。私の最終目標は小林が11年かけて書いた『本居宣長』だが、今読める自信は未だ無い。然しこれからも小林秀雄の世界に浸って、なるべく長く、楽しく、健やかに生きて行きたいと思っている。

「戦争と平和！」
第 21 回

敗戦という教訓から、再び新たな
「平和ビジョン」を掲げませんか

石堂 智士

① 私のふるさと

私は、昭和 23 年 1 月生まれなので、戦争を知りません。幼少期に、母親から昭和 20 年 8 月 6 日午前 8 時 15 分の原爆投下時の状況を聞いたことがあります。母親が住んでいた広島市白島九軒町は、原爆ドームから 2 キロぐらいのところでした。突然の雷光の後、爆風による板塀倒壊で怪我をしたこと、直後の火災発生で町全体が焼け出されたことを知りました。避難した場所はすぐ近くの京橋川の河原で、たくさんの人々が逃れてきて大変だったようです。母親の家族は、自分たちがよく助かったものだという。一生忘れられない出来事を経験したのでしょう。それで、物心ついた小学生時分の私たち子供に、恐ろしかった自分の被爆体験を語ってくれたのでしょう。団塊世代の私にとって、母親の被爆体験は貴重な思い出の一つです。

② 傍聴席の体験

会社を退職した後は、人生でやり残した自然科学の世界を究めたいと考え、市内の各図書館を自転車で巡りながら余生を楽しんでいました。そうした中で、市民大学に寄り道をして、戦争責任の一端を学び、次の 100 年を考えてみたいと思うときに、傍聴席と出会いました。政治と歴史など社会科学を学ぶことは初めてで新鮮に感じました。市政の傍聴も、全くの初体験でしたが、ここ 3 年は習うよりも慣れろと市議会の傍聴に勤しむことができて、少し政治がわかるようになりました。また政治を学ぶため、図書館でいろいろな歴史ものを読みました。そこで、政治をよくするために学習したことがあります。現在の政治は、過去の歴史の反省に立っていることがわかりました。

③ 敗戦という教訓

現代日本政治の原点は、太平洋戦争の敗戦後の日本復興にありました。2 度の世界大戦の反省から、国際連盟を刷新した国際連合(国連)が米国につくられ、加盟する国は戦争をしかけられても、国連の許可がなければ戦争をすることはできません。国対国の戦争は禁止されましたが、依然として小戦闘や内戦などが世界中で起こっています。戦争を抑止するため、核爆弾を持つとか、国連軍を増強する現実があります。広島・長崎の原爆投下や、沖縄の玉砕や、東京大空襲や、インパール玉砕や、中国侵攻など太平洋戦争の日本人死者数は 310 万人といわ

れています。日本国は、太平洋戦争の敗戦によって、大勢の国民を死なせただけでなく、多くの産業基盤も喪失しました。まさに日本国 2000 年の歴史の中で悲惨な敗戦でした。この敗戦を歴史の教訓として、日本は平和の国を目指しました。

④ 再び新たな「平和ビジョン」を掲げて

いま、皆さんの中に戦後の夢であった「平和な国」日本の具体的な姿がありますか？ 戦後の日本経済は、先進国のトップを競うまでに発展しました。しかし、世界の国々は日本を平和の象徴として見ているのでしょうか？ 私には日本が世界平和をリードしているように思えません。戦争を起こし、侵略をして、敗戦した国として、日本は世界平和をリードする国家になるべきだと思います。明治維新以後、近代社会を受け入れ、苦勞して産業立国を成し遂げた日本は、徳川時代の 200 年を超える平和な時代を持続することが必要です。世界では、国連の常任理事国の争いの中で世界平和が停滞する時代を迎えています。日本は、世界平和を目指して、一歩でも前進する気高い精神を再び示すべき時ではないでしょうか。自然が豊かで穏やかな心を育む日本文化を知りたい人々が増えています。敗戦の教訓から、日本は再び新たな「平和ビジョン」を掲げて、戦後百年を超えて、次の百年も平和時代を続けたいと思いませんか。

*本原稿を書くにあたり、参考にした本：

「戦争まで (歴史を決めた交渉と日本の失敗)」加藤陽子著
「憲法の無意識」柄谷行人著
「日本を創った 12 人」堺屋太一著



戦争まで (歴史を決めた交渉と日本の失敗)



憲法の無意識



日本を創った 12 人

サークル活動報告

所沢市役所市民ホールで

所沢市民活動「見本市（パネル展）」開催

所沢シニア世代地域デビュー支援の会 田口 元也

いつ終息するか全く見通しが見えないウイルス感染、みなさんのサークル活動にも多々影響のあることでしょう。わたしたちも、3月予定の第3回シニア世代「市政ひよこ塾」と第7回シニア世代「なんでも塾」

が中止となりました。

そこで、今回は2月27日、28日の2日間にわたって所沢市役所市民ホールで開催されました所沢市民活動支援センター主催による「所沢市民活動見本市」通称「パネル展」をご紹介します。これは市内で活動する市民活動団体が各団体独自で作成した「パネル」で活動内容を紹介するもので毎年



所沢市民活動見本市
ポスター

開催しております。

市民活動団体は、①文化・芸術・スポーツ②健康・福祉③社会教育・子育て④自然・環境保全⑤暮らし・地域づくりなどのジャンルに分類され、今年は22団



サークルの展示パネル

体が参加しました。パネル展示のほかに各団体の活動を動画で紹介するコーナーや、社協によるボランティア活動の相談、NPOに関する相談コーナーもあり、市民活動団体の活動の理解とこれから実際に活動に参加してみたい人たちへ呼びかけを行いました。

今回は各団体の説明員による解説が、ウイルス感染拡大防止ということで中止されました。終了後、もっと詳細な活動の内容が知りたいと自宅までメールの問い合わせがあり、後日、直接お会いしてお話するというハプニングもありました。

所沢市民活動支援センターでは、秋には市民にもっと参加団体の活動を知っていただく目的の「センターまつり」が開催されます。そこではSP(スマイル・パイレーツ)によるチアダンスも披露して花を添えます。

600名の子供たちとの楽しい授業でした

民話の会 仲山 富夫

サークル「民話の会」は、今年で7年目を迎えました。私たちの活動は、小学校、児童館、各種老人ホームで、所沢の民話を語りながら楽しい時間をいただいています。7年目の感想を述べるとすれば「各会場で、こちらこそ元気をもらっているということですね。感謝です」

現在9名の会員です。7年間の歴史を振り返ってみます。

「自分たちのサークルソングが欲しいね」との声があがり、「つくろう!」「誰がつくるの」「なんとかなるよ」。出来上がったのが『民話はみんなの宝物』(3バージョン)。

今年も小学校三年生の授業「郷土所沢を知る」をいただきました。5年目になりました。

1月、ある小学校での授業でした。体育館へ(寒かったね)85名の三年生が入場してきました。

半袖、半ズボンの生徒たちが体育座りをしながら、突然かわいい歌声をあげました。



所沢市牛沼小学校体育館でのお話会

「え!」画面を見ながらみんなが歌い始めました「おはよう♪ うたおう♪ 東川♪ 柳瀬川♪」

こんな経験は初めてでした。広い体育館に民話の会のサークルソングが流れました。

会員は歌に合わせて楽しい振りで踊り迎えました。

今年一緒に所沢の民話『弘法の三ッ井戸』『カヤ湯』を視聴してくれた600名の生徒たち、私たちの活動に賛同していただいた校長

先生、先生の皆さん、ありがとうございました。「今年も、こちらこそ思い出と元気をいただきました」

5年前に出会った生徒たちは、今、中学生だもんね。

「民話の会も年取ったかあ?」

今年も、『河童のお伊勢参り』『塚ノ越地蔵』に続く、新しい民話を創り音楽を創ります。

民話の会の目標は明快です。皆さん、「歳なんて言ってる場合じゃないですぞ!」

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

<p>1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868) 4月10日(金)13:30~15:30 中央公民館 及川先生講義「古事記」 (最終回)15:40~16:40 例会・・・コロナ対策の為中止します。 5月8日(金) 13:30~及川先生講義「古事記」(最終回)を予定 していますが未定です。決まり次第お知らせします。</p>	<p>8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751) 4月9日(木) 定例会・淵野先生の講演会中止 柳瀬荘黄林閣散策路整備活動は休止中。東京国立博物館の指 示待ちです。 5月14日(木)10:00~12:00 新所沢公民館 定例会</p>
<p>2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076) 4月15日(水) 定例会 中止します。 5月27日(水) 定例会 未定</p>	<p>9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010) 4月16日(木) 野火止用水歩き(久米川~清瀬) 久米川駅(西武新宿線)南口改札前広場 10:00 集合~14:00 恩多野野火止水車苑・富士浅間神社・下里本邑遺跡公園 5月13日(水) 府中の国衛地区探訪</p>
<p>3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548) 4月22日(水)13:00~15:00 定例会は中止とします。 5月27日(水)13:00~15:00 定例会未定</p>	<p>10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238) 4月18日(土) 定例会を中止します。 5月2日(土) 10:00~12:00 中央公民館学習室3号 朗読(テキスト未定)</p>
<p>4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 事前連絡は不要です) 4月14日(火) 定例会中止します。 5月12日(火) 「ベートーヴェン・生誕250年特集」13:15~ 中央公民館3階8・9学習室 楽しい音楽をご一緒に!!!</p>	<p>11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151) 4月14日(火)10:00~12:30 西新井会館 < 中止 > 洋画「007/ムーン・レイカー」(79年)ロジャー・ムーア主演 4月28日(火) 10:00~12:30 西新井会館 < 中止 > 邦画「天国と地獄」(63年)モノクロ・一瞬カラー 三船敏郎 【注】新型コロナウイルスの感染防止に協力!!</p>
<p>5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752) 4月21日(火)「東京都薬用植物園・見学会」(小平市) 中止します。 5月19日(火) 横浜中華街と山下公園(薔薇観賞)予定</p>	<p>12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308) 4月27日(月)10:00~12:30 こどもと福祉の未来館多目的室2号 ・「総会」 ・3月定例会分「埼玉の三偉人」(未定)</p>
<p>6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161) 4月21日(火) 中止 ＊第五福竜丸見学会 実施未定 5月19日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館研修室 定例会 ①討論会:レジ袋の適正価格 ②持寄り学習、他</p>	<p>13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835) 4月20日(月)14:00~16:00 新所沢東公民館 学習会 「地域公共交通政策」3回目 「地域公共交通政策の課題について」自由討論会 5月18日(月) 学習会「テーマ未定」</p>
<p>7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668) 4月19日(日) 所沢市民フェア:よってけステージ 所沢航空公園内 SPチアダンス出演予定(延期・未定) 4月11日、18日(土)13:00~17:00 中央公民館3階和室 SPチアダンス練習日 見学大歓迎(中止) 新型コロナウイルス拡大防止により活動を一時中止します。</p>	<p>14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283) 4月17日(金) 定例会は中止とします。 5月15日(金) こどもと福祉の未来館 定例会(予定)</p>

理事会報告

2020年3月9日(月)第4回理事会を開催した。
 ・2/26「ところざわ倶楽部歴代会長懇談会」内容を報告。当時の状況や現在の運営に対する意見交換のほか、市民大学との連携強化および大学の世代構成見直しについて合意を得た。
 ・次は4/27に「市民大学歴代会企画委員長との懇談会」を開催。
 ・生活クラブとの共催の中村敦夫朗読劇「線量計が鳴る」は、新型コロナウイルス騒ぎが広がり始めた中、開催し、194名の入場が

あり、大変好評で無事終了した。収益金のうち5万円を原発被災復興寄付に、残り3万円が倶楽部に還元された。
 ・時局講演会「憲法について真剣に考える」は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
 ・文芸講座「宮澤賢治」木佐敬久氏を講師に6、7月開催予定。
 ・ところざわ倶楽部まつり実行委員を募集。
 ・広場新会員特別号を発行した。
 ・サークル活動補助金を交付した。

みんなの広場 第22回

ドラマティック・カンパニー
高橋 信行

70の手習い

リコーダーを習い始めて約4年になります。「七十」の手習い、「日暮れて道遠し」です。

きっかけは音楽朗読劇「ハーメルンの笛吹きおとこ」(台本・作曲笠松泰洋、北本公演)を観て、古楽器の演奏を聴いたことです。リコーダーのプロ演奏家の生の演奏を聴き感激し、無謀にも自分でも演奏してみたいと憧れ、また「脳活性化」になるなど周りの言にも乗って始めたのですが、全くの素人の、一からスタートでした。息を吹き込めば音が出、指穴を変えれば音程が変わる。簡単といえば簡単ですがなかなか難しく、また単に旋律が吹ければよいというものでもなく、いろいろ奥が深いことがわかってきました。

今は曲の演奏に少しずつ取組んでいます。リコーダーはバロック時代の花形楽器で沢山の曲がありますが、自分では選択ができないので選んでいただく曲を練習します。譜が頭に入らない、同じ箇所でも何度も間違えるなど簡単には行きません。反復練習と不断の音階練習をして進むのみですが、幸い練習自体が楽しみでもあります。

最近は「きれいな音」や、「曲想」を念頭に練習していますが、お師匠の「ご苦労」に少しでも報えれば、と励んでいます。

むさし野俳句会(令和二年三月)作品抄

蜜柑剥く絹の産衣を脱がすやに	橋本 佑子	蛇穴を出て蒼天に軍用機	佐藤 八郎
逆毛立て退つ引きならぬ恋の猫	平栗 彰子	遠き日の友の笑顔や土筆和	白神 恵子
病室の窓に指絵や春を待つ	宮本 信生	清流に鷺の利き足泥鰌掘る	高梨 千代
草餅の濃さも薄さも郷の味	荒幡千鶴子	廃屋の厨をのぞく藪椿	高橋三加子
江ノ島や海より暮るるしらす船	井出 昇	夕暮の園路に花菜あかりかな	利根川啓一
琅玕の雪解きらめく散華かな	海老澤愛之助	指の傷脈打ちてをり浅き春	中嶋 弘子
初午や囃子代はりの子供菓子	粕谷のぼる	普段なき明るき庭の節分會	中村 直子
三極の花スカートをふりふりと	小林 典子	ただそこに在るだけで良し春炬燵	鈴木 征子



《編集後記》

連日、テレビをつければ新型コロナウイルスのニュース。サークル活動をひかえて家に閉じ籠っていると惚けてくるような気がする。自分は大丈夫と思っても他の人を巻き込んだらと思うとやっぱり怖い。もし感染してしまったら、重症化するかもしれない自身は自身の免疫力にかかっているらしい。良質な睡眠をとり、栄養バランスを考え、ストレス発散して「うつらない、うつさない」と注意して生活するしか手はなさそうである。家の中で過ごす時間を持て余し気味の私は、優雅に音楽を聴きながら読書も良いのだが、この際中々その気になれずにいた断捨離をすることにした。家の中がスッキリすると何故か心にも余裕ができた。しかし終息宣言はいつになるのか。1年先になったオリンピックの開催までには世界中が平穏をとり戻してほしいものだ。(岩瀬 記)

川柳〔五十二〕 作品発表 選 中島峯生

課題「疲れる」

電車ではくしゃみとせきに気を使う	どうし
穴あきや擦れたジーンズ値打ちもの	りんご好き
疲れてる刑事みたいな靴の底	突拍子
疲れると先に言った者の勝ち	海さとし
お出かけは今日も快傑マスクマン	庵閑子
ウイルスでジジババ疲れ孫の世話	縄文人

「自由句」

おはようでご機嫌計る老夫婦	りんご好き
咳したい電車の中で思い切り	庵閑子
船旅をわからぬように夜帰る	ど拍子
そのままマスクの方がいいオトコ	突拍子
良い気持ち年を取るほど風呂が好き	鼻・鬚
ペンギンをぺんぺんと呼ぶ孫可愛い	海さとし

次回(第53回) 課題「近い」そして「自由句」
締切り日: 4月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)